

2013年2月1日

各 位

西武鉄道株式会社
西武レクリエーション株式会社

ダイドードリンコアイスアリーナのスケートリンク不具合について

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久）が所有し、西武レクリエーション株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：松本 康一郎）が運営するダイドードリンコアイスアリーナにおいて行われていたアイスホッケーの競技会中に、リンク上に不凍液が漏れ出す事故が発生しました。

選手、観戦のお客さまならびに大会関係者の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

詳細は、下記のとおりです。

記

1. 発生日時 2013年2月1日（金）9時20分
2. 発生場所 ダイドードリンコアイスアリーナ（東京都西東京市東伏見3-1-25）
3. 状 況 上記時刻、第68回国民体育大会 冬季大会 アイスホッケー競技会の少年男子決勝戦中、スケートリンクの氷下に敷設しているパイプが破損したことで、氷上面の一部に不凍液（エチレングリコール）が漏れ出したため試合を中断し、10時50分、試合が中止となりました。
修復作業を施したものの、試合運営の安全上、問題があると判断し、13時03分、同日予定されていた成年男子決勝についても中止となりました。
なお、試合中の選手にお怪我はございませんでした。
4. 原 因 通常、不凍液を流すためのパイプは、スケートリンクの氷上面下約7cm程度に敷設していますが、1本のパイプのみ氷上面下約1cm程度まで浮き上がっていたため、滑走により序々に氷が削られ薄くなったことでパイプが露出し、そこにスケート靴のエッジ部分があたりパイプが破損し不凍液が漏れ出したものと思われます。
5. 再発防止策 スケートリンクの氷を全て解氷した上で総点検を実施します。

以 上